

第2回陸側遮水壁タスクフォース議事概要

日時：平成25年8月8日(木)16:40～17:05

場所：経済産業省 本館17階東4 第5共用会議室

出席者：大西主査、伊藤委員、藤田委員、丸井委員、鎌田委員、赤川委員、東京電力、鹿島建設、水野 原子力発電所事故収束対応調整官

議事概要：

1. 事務局より、フィージビリティ・スタディ事業の進め方(議論ポイント)について説明【資料2】。
2. 東京電力より、福島第一原発の地下埋設物について説明【資料4】。

<フィージビリティ・スタディ事業の進め方についての主なコメント>

- ・本日は時間があまりとれなかったため、事業内容については具体的な話がある程度まとまったところで再度議論したい。(大西主査)
- ・福島第一の敷地外でも地下水の調査や対策などを検討した方がよいのではないか。(伊藤委員)
- ・1～4号機に影響を与える地下水の流れをきちんと把握すべき。(丸井委員)
- ・広い範囲の地下水の流れを把握しておかないとトラブルが生じた際に原因を確認しようがない。(大西主査)
- ・まずは敷地内の調査かもしれないが、その結果不十分ということであれば敷地外も検討の視野に入れていく方がよい。(鎌田委員)
(←東電及び事務局から、敷地外は地権者がいること等もあり検討が難しいので、まずは敷地内で検討をしたい旨回答。)
- ・追加的な検討も行えるよう、年度末で完全にフィージビリティ・スタディが終了ということではなく、その先も議論できるようにすべき。(藤田委員)
(←事務局から、追加的な検討は今後のタスクフォースで行っていくものと考えている旨、終了時期についてはFS事業としては年度末ということになるが、それ以降の議論については必要性も含めて今後検討する旨回答。)
- ・地盤改良の結果なども反映された情報があるとよい。(鎌田委員)

以上